資料３

【提案】 茅ケ崎市民への共感を高めるための “心のバリアフリー”カードによる呼びかけ

＊“心のバリアフリー”カードによる呼びかけは、以下の視点を重視して作成しました。

視点１：「ありがとう！」と、感謝の言葉から始まる問題提起で市民への共感を高めます。

視点２：わかりやすく問題を提起し、次に身近なバリアの具体例を紹介し、最後に「心のバリアフリー」への対応（重要！）をお願いします。

視点３：ポストカード形式により、わかりやすさ、読みやすさ、伝えやすさを追求します。

視点４：手渡しにより、口コミ対話方式での理解促進を目指します。

視点５：カード形式（B6版又はA５版）により、誰にも瞬時にアピールでき、またシリーズでの継続発行も可能となります。

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　車いすの私から・・・

（又は、「あなたに　ありがとう！」以下、要検討）

【写真又はイラスト】

注：この部分は、部会の皆さんと内容を検討します。皆さんで写真やイラストなどを持ち寄り考えていきましょう。（以下同様）

（例）車いすでのバスの乗降時の写真、運転手が手伝う様子、乗客も温かい目で見ている様子など

【呼びかけ文】：問題提起⇒具体例⇒バリアフリー対応（心のバリアフリーのお願い）

車いすを利用する私は、街なかの移動に制約があります。
例えば、バスの乗り降りには特に時間がかかってしまいます。
そんな時、「大丈夫ですよ」といった目で見守っていただくと、本当にうれしくなります。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　車いすの私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

車いすを利用する私は、一般のトイレは狭くて使えません。

最近、「みんなのトイレ」、「ユニバーサルトイレ」が増えてきましたが

多様な利用者が集中し緊急時に使えないことがあります。

こうしたトイレの優先利用について考えていただきたいと思います。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　車いすの私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

車いすを利用する私は、急に進路変更ができません。

最近はスマホの操作に気を取られ、前を全く見ずに歩く人が増えています。

よけ切れずぶつかってお互いにケガをすることがあります。

歩きスマホは絶対にやめてください。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　目の不自由な私から・・・

【呼びかけ文】

目の不自由な私は、周りの状況が良く分かりません。

横断歩道を渡る時など、近くの人が声をかけてくれるととても安心です。

あなたの「今、青ですヨ」の一言を待っています。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　目の不自由な私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

目の不自由な私は、誘導ブロックを頼りに歩いています。

その誘導ブロックの上に自転車や看板が置かれていていることがあり、当たって転倒したりケガをしたこともあります。

誘導ブロックの上には、物を置かないようにしてください。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　目の不自由な私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

目の不自由な私は、駅のプラットホームを移動する時、いつも緊張で胸がドキドキしています。

私にとって駅のプラットホームは手すりのない橋のようなものです。

そんな時、あなたが「どちらまで行かれますか？」と一言声をかけていただくと本当に助かります。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　耳の不自由な私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

耳が聞こえない私は、音声による情報が全く聞き取れません。

災害発生など緊急時に放送が流されても分かりません。

そんな時、周りの人が状況を教えてくれると本当に助かります。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

ありがとう！　知的に障がいのある私から・・・

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

知的に障がいのある私は、時々自分勝手な行動をとってしまいます。

でも「こんにちは」と挨拶されるとうれしくなります。

わたしは、こうした声かけで楽しい一日を過ごすことができます。

皆さんの優しい気持ちに感謝しています。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行

【見出し、キャッチコピー】

あなたの“ひと言”に　ありがとう！

【写真又はイラスト】

【呼びかけ文】

まちを歩いていて「あの人、だいじょうぶかな？」と思うことはありませんか。

体に障がいを持つ私たちは１人で出来ないことがたくさんあります。

でも困っている時のあなたの“ひと声”は、ありがとうの感謝の気持ちでいっぱいです。

「茅ケ崎市バリアフリー基本構想推進協議会　市民部会」 発行